

久代自治振興区地域内の行事予定(10月～11月)

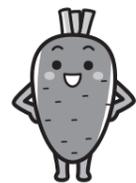
9/24(月・祝)	8:30～	わ い わ い 講 座 美川ムーバレー視察研修	山口県	わいわい講座
10/1(月)	9:00～	東 城 地 区 高 齢 者 運 動 会	東城小	高 齢 者
10/3(水)	13:30～	3 B 体 操	センター	— 般
10/7(日)	9:00～	東 城 町 総 合 体 育 大 会	運動公園	— 般
10/14(日)	9:00～	東 城 ふ れ あ い 祭 り	東城小	— 般
10/22(月)	9:00～	東 城 町 自 治 振 興 区 会 連 合 会 G G 大 会	運動公園	— 般
10/27(土)	7:00～	成 人 学 級 級 修 淡 路 島 視 察 研 修	淡路島	— 般
10/31(水)	13:30～	久 代 で 元 気 シ リ ー ズ こ け ま ～ で 教 室	センター	— 般
11/2(金)	7:00～	山 口 ゆ め 花 博	山口市	— 般

■野菜等を寄付してください！！■

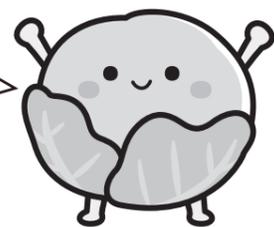
10月14日(日)の東城ふれあい祭りで開催される『7月災害復興支援野菜オークション』にご協力をお願いします。このオークション会場で、皆様から無償提供された野菜を販売し、庄原市に義援金として寄付します。この取組に対し、いち早く小奴可リンゴ組合・ベジタファームさんに賛同いただいております。久代でも問合せがあり、新米カボチャ・サツマイモ・ネギ・キクイモが出せるとの話がありました。

事務局長も青パパイヤを出す予定にしていますが、生育が遅れています。

※ 野菜加工品は不可です。



皆様のご協力を
よろしく
お願いします。



久代自治振興区だより



久代自治振興センター：〒729-5122 庄原市東城町久代 2105-1・発行責任者 西村 和正
電話番号 08477-2-0148(FAX 兼用)/E-mail:kusiro@vesta.ocn.ne.jp

8月末の久代の人口：男224人・女202人・計426人 202世帯

◆みんなで協力して生き延びよう!!◆

9月6日(木)19時から、久代自治自主防災会の総会開催し、7月豪雨災害の取組報告と今後の対応について意見交換をしました。

久代自治振興区の反省点と今後の対応

- ① 行事の中止連絡が遅れた。異常気象が想定される場合は速やかに中止する。
- ② 避難所の開設で、その都度市職員が変わり設備等の説明を要した。市職員用の設備等マニュアルを作成する。
- ③ 避難所に到着した方が「あなたは避難場所が違う」と言われた。避難所は市が運営するものであり、だれでも避難出来ることを再認識させる。
- ④ 避難困難者について、全ての方の対応が出来なかった。今後は支部避難誘導班がその任に当る。
- ⑤ 避難食の配布が遅れた。今後も遅れることが想定されるので支部給食班は避難者とともに用意する。
※ 避難所はホテルや旅館ではない。共同で避難生活する仲間であることを説明し手伝わせる。
- ⑥ 被災報告は、久代全域から振興区に連絡が入ったが、住宅裏しか調査出来なかった。緊急を要する案件以外は、支部情報収集班で集約する。
- ⑦ 被災相談は、民生委員・高齢者巡回相談員と情報を共有した。東城支所へは随時メールで送付した。今後も同じ対応とする。
- ⑧ 事務局長は、災害調査等で疲労し体調を崩した。今後、勤務体制や時間外手当等を見直す。



※久代自治自主防災会の様子

各支部からの報告

東支部 7月6日(金)に避難所開設の指示が西村会長からあった。直ちに開設し夕食の炊出しを実施した。成羽川の水位が上昇したため、瀬尾工務店と日東粉化倉庫に移動した。7月7日(土)朝食も用意した。午前中は床下浸水住宅の清掃とR182の道路面に上がったゴミ等を撤去した。午後は被災カ所について消防団と合同で調査を行い、調査結果を書面で東城支所に提出した。
※反省点 防災用サイレンを鳴らすのを忘れていたので今後は必ず吹鳴する。

8月24日(金)久代中支部サロン報告

講師として、庄原市生活支援コーディネーターの上田正之さんに『ここ久代で生き生きと暮らすために！』と題してご講演をいただきました。近年の自然災害は「いつでも、どこでも起こりうる!!」信じられない被害の傾向になっている。大災害が同時多発で発生すると公的機関がすぐに助けに来てくれない。

まず自分の身を守る。次は近所の人に早めの声かけをし、早めの行動を促す。特に高齢者は、判断が遅れるため行動も遅れる。早めの避難が大切。災害が起きたら応急期の1～3日をどのようにしのぐかがポイントになる

- ① 避難所に避難する。(必要なものは持参する) 無理なら、自宅内の一番安全な部屋に移る。
- ② 懐中電灯、電池式ラジオ、飲み水、携帯食料品 処方薬等。



※庄原市生活支援コーディネーター 上田正之さんのお話の様子

一番大事なものは、いざという時のために普段からの人のつながりが大事！！

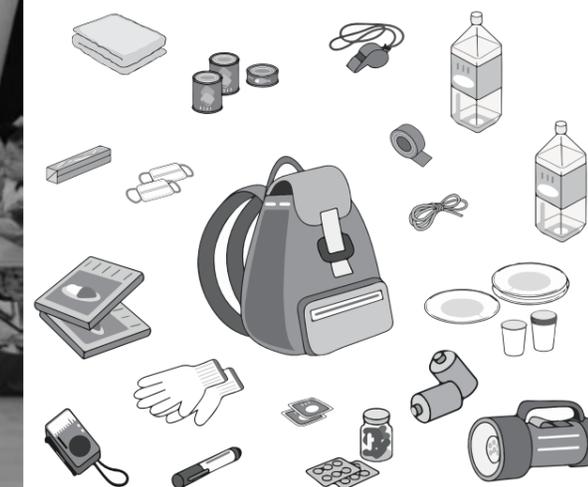
- ◎ 普段からの気にかけあい(見守り合い)⇒いつも挨拶をかわす。声を掛け合う
- ◎ みんなが、顔を合わせて話をする場所に参加する⇒地域行事、趣味の会 サロン等に参加し、体や気持の健康に努める。
- ◎ 普段の支え合い活動⇒出来ることで支え合う。(話し相手、おすそ分け、買い物等)

以上、お話をいただきましたが、常日頃から地域の人達で食事や話をしたり何か一緒にすることが、自分の身を守ることに繋がるのだなと確信しました。

※久代中支部サロン報告の様子



地域マネージャー 榎原美代子



為重支部 7月6日(金)に避難所開設の指示が西村会長からあった。直ちに為重集会所と4区集会所を開設した。夕食は地域のボランティアの方が届けてくれた。一部は久代自治振興区JAライスセンターや親類宅へ避難した。7月8日(日)に被災調査を役員で実施し、調査結果を書面で東城支所に提出した。

※反省点

為重集会所は高齢者・障害者にとっては避難困難な場所にある。避難準備の放送があった時点でバリアフリーの避難所に行くよう指示する必要がある。JAライスセンターに避難した方の確認に手間取った。今後は携帯電話等で避難者と連絡が取れるようにしておく。



※久代自治自主防災会の様子

中支部 役員の一部が消防団員でなにも出来なかった。避難困難者は支部避難誘導班が迎えに行った。7月6日(金)夕食は地域のボランティアの方が届けてくれた。7月7日(土)の朝食は、支部給食班と避難者と一緒に準備した。被災調査は前支部長と振興区事務局長に依頼した。

※ **反省点** 避難準備が出た時点で、自主防災会の支部役員は全員集合する。

共通の問題点として「避難を拒む人」について、どのように避難させるかについて色々な発言があった。

- ① 常日頃から声をかけることが一番だ。(支部で開催される行事やサロンへの参加を促す等)
- ② 避難準備の放送があったら、速やかに自宅を訪問して避難をさせる。(避難指示となったら迎えに行く人がいない)
- ③ 民生委員・高齢者巡回相談員との連携を密にする。

♪ 生涯学習からお知らせ ♪

《久代でげんきシリーズ第3回膵臓癌について学ぼうと
シルバーリハビリ体操を開催しました》

★ 8月22日(水)午後1時30分からシルバーリハビリ体操・午後2時から庄原赤十字病院の鳴戸謙輔先生をお招きして膵臓癌について学習しました。

膵臓の役割：消化酵素を出す。血糖調整ホルモン分泌、血糖値の調整をする。糖尿病にも関連する。膵臓は、沈黙の臓器、積極的検査と早期発見。早期発見は難し癌で死亡率は92.8%にもなる。場所的に治療の難しい癌で酒の飲みすぎ、食べ過ぎ、タバコは発癌リスクを高める。親族縁者に膵臓癌にかかった方があればかかる率は3～5倍になる。治療が難しい癌ですが、日頃の酒の飲みすぎ、食べ過ぎ、タバコなど基本的な生活態度に気をつけるよう指導されました。

* 重い空気の研修でしたが、シルバーリハビリ体操で身体は、すっきりしていました。